

# シルバードायリ

きつと、もっと、これから。

## CONTENTS

特集 シルバーフェスティバル	表紙
わが町ぶらり散歩	2
7区通信／就業先情報(城南区)	3
実績報告・事故報告／会員のひろば	10
互助会だより／会員手帳差し替えのお知らせ	11
事務局からのお知らせ	裏表紙

## 特集 シルバーフェスティバル



シルバーフェスティバル2016が10月15日、16日に早良区百道浜のRKB広場で開催されました。

二日目は雨の中でのスタートでしたが、昨年同様多くの人出がありました。

毎年恒例のシルバーギャラリー、筆耕コーナーはいずれも盛況で、昨年の売り上げを上回り、お客様と対応されている会員の弾んだ声と笑顔がとても素敵でした。

また、今年初めて企画した子供向けのリース作成体験コーナーでは子供が真剣に取り組む姿をお父さん、お母さんが温かく見守っている姿が印象的でした。また、日向ひよっとこ踊りは注目の的となり、独特のユーモアある踊りにシャッター音とフラッシュが絶えませんでした。3000部のチラシはあっという間に底を尽き、多くの方にシルバー人材センターを知っていただくことができました。

今年も大成功、参加会員の皆様、お出でいただきました皆様、ありがとうございました。

## 福岡市動植物園界隈（中央区）



緑に囲まれた福岡市中央区の南公園一带に福岡市立動植物園があり、家族連れや遠足の子供などで一年中にぎわっています。

戦後すぐに動物園が復活し、その後平尾浄水場の移転により、跡地に植物園が併設されました。その浄水場の当時の建物も、福岡市の歴史的遺産として園内に保存されています。



動物園には象やキリンを始めライオン、ペンギン、孔雀など約140種の動物や鳥が飼育されています。それらの動物たちと直接触れることができるコーナーも設けられ、子供たちの人気を博しています。

一方、動物園とスロープカーで結ばれている植物園は、季節の大花壇を始め珍しい花木園や熱帯植物園などがあり、約2600種19万本の植物が栽培展示されています。春は桜の下での家族団欒や遠足の園児がお弁当を広げている姿を多く見かけます。中でも人気は大バラ園で、約250種1100株の園芸品種のバラが春と秋の時期に芳香を漂わせながら咲き誇り、カップルやカメラマンも大勢来ています。

動植物園へは市内中央から路線バスが頻繁に運行されており、休日や夏休みには平和台陸上競技場駐車場からのシャトルバスも出ています。マイ

カーで行かれる方には駐車場も用意されていますが、満車になることが多く、できれば路線バスをお勧めします。



帰りは動物園を出て薬院方面へ向かう浄水通りの散策がおすすめです。浄水通りは植物園のところで紹介した、平尾浄水場にちなんで付けられた通りの名前です。ゆっくり歩いても20分程度で歩ききってしまう程の距離で、動物園から薬院交番へと向かって歩を進めると、静けさをたたえた槐（えんじゅ）と桜並木の続くゆるやかな坂道になります。道の両脇にはレンガ造りの瀟洒なカフェやギャラリー、フランス風の雑貨店など、洗練された店舗が並んでおり、足を止めて知的で優美な通りの雰囲気を楽しめます。

浄水通り半ばの信号を南に10分ほど歩くと、日本庭園「松風園」があります。この松風園は、平成19年に福岡市平尾に開園したお茶室のある公園で、平尾に残る貴重な緑地を保全し、優れた茶室「松風庵」を再整備して一般に利用できるようにしたものです。「松風庵」の創設者は昭和を代表する数奇者で、九州の茶の湯文化を伝承しようとこの茶室を作り、数々の客人をもてなしました。

動植物園の帰りにはぜひ立ち寄って、日本庭園と園内の大紅葉の美しさを味わいながら、茶室でお抹茶を戴くのも一興であります。

（参考資料：ホームページ）



広報委員 大津 英世

## ●普及啓発活動街頭キャンペーンの実施



10月8日（土）午前9時よりJR箱崎駅・千早駅・JR香椎駅の各駅周辺で、64名の会員が参加してリーフレットとウェットティッシュを配布し、シルバー人材センターのPRとご利用をお願いしました。

通行人の中には、「シルバーさんは利用しとるよ」「剪定頼みよるよ」と声もあり、「今後ともよろしくお願いします」と明るく笑顔でPRに努めました。

また、5月の「博多どんたく」の時にも東区の香椎会場でリーフレットを配布しており、民需拡大に頑張っています。

## ●東区花火大会清掃ボランティアに参加



10月15日（土）に香椎御島崎海岸で東区花火大会が開催され、午後7時30分から8時30分の1時間の間に約7700発の花火が打ち上げられました。

9月3日に予定していた大会を台風12号の接近で中止していました。

地元の要望などを受け、1ヶ月遅れで再び開催を決められたもので、当日は、好天気に恵まれ、秋の夜空に「大輪の花」が次々咲き誇り、「きれい」などと歓声が上がりました。沢山の露店などがあり、大勢の観客で賑わいました。

翌朝8時から花火大会で出たゴミの回収が会場付近で行われました。小雨模様でしたが、地域や



ボランティア団体など多数の参加があり、東出張所からも70名の会員が参加し、約1時間の作業できれいな海岸になりました。

## ●ふれあい日帰りバス旅行

～雲仙みかどホテルのランチバイキングとみかど劇場の観劇ツアー～



ふれあい日帰りバス旅行が11月8日（火）、9日（水）の2日に分けて開催され、8日74名、9日39名の計113名が参加しました。

西鉄香椎駅前を8時に出発し、都市高速、福岡ICから九州道・長崎道を走行し、諫早ICから島原半島に入りました。有明海沿いの国道ではなく、山側のグリーンロードを走行して、午前11時頃予定通りに雲仙みかどホテル本館に到着しました。早速、昼食のバイキング料理をいただき、その後、午後2時40分まで温泉とみかど劇場の観劇を楽しみました。

帰路は、雲仙温泉街、小浜温泉を通過して、諫早ICから高速道を利用し、途中、大村カステラセンターで工場見学をしました。焼きたてのカステラを試食し、土産物を購入して午後7時30分頃、予定より1時間遅れでしたが、無事香椎に到着しました。今回の親睦旅行を企画された幹事さんには大変お世話になり、有難うございました。

## ●女性会員の集いの開催



11月7日（月）午後1時から、博多市民センター視聴覚室において、女性会員の集いが開催されました。



始めに、本部からご出席の岡崎監事及び樋口専任担当理事の紹介のあと、古賀委員長から挨拶があり、博多出張所の現況報告、転倒予防のためのロコトレ（片足立ち）の説明、頭の老化防止のための読書推奨の発言がありました。

続いて、樋口専任担当理事から子育て支援・家事援助就業について説明があったあと、木室安全担当から、ビデオ上映を交えて安全就業の説明が行われました。また、会員との意見交換・質疑応答では、家事援助の際のサービス就業等について、突っ込んだ意見交換が行われました。

後半は、本日の催し物のオンパレードです。門田千帆先生の身体をケアするアロマリンパマッサージの講演と実演、続いて行われたひょっとこ踊りでは、どんたく囃子を女性会員を交えて踊りました。そのあと、豪華景品のかかったじゃんけん大会で大いに盛り上がりフィナーレを迎えました。

## ●東月隈ⅠⅡ席田地域懇談会の開催



11月17日（木）午前10時から席田会館において、東月隈ⅠⅡ席田地域懇談会が開催されました。

始めに、参加者の自己紹介、古賀委員長、坂稲・廣瀬副委員長の挨拶が行われたあと、坂稲副委員長から博多出張所配分金ベストテン及び地域会員の就業状況並びに新入会員の入会状況等について説明がありました。

続いて、古賀委員長から安全・適正就業に関して、ロコモティブシンドローム（日常生活に必要な身体の移動機能の低下）をなくすためのトレーニング（ロコトレ：片足立ち）の実践が行われた

あと、読書力の回復について説明があり、今後、10年間に新書50冊、単行本100冊を読まれるよう推奨されました。また、土曜日は会議室を土曜サロンのために開放していますので、囲碁、将棋、手芸、読書などの趣味のある方は活用してくださいとの発言がありました。

最後に会員からの質問、要望、提案があり、懇談会のあり方や派遣就業などについて活発な意見交換が行われ、会議を終了しました。

## ●楽しかった親睦旅行



互助会の日帰り親睦バス旅行が11月10日（木）・14日（月）に分けて行われました。両日ともあいにくの雨天でしたが、10日は33名、14日は39名、計72名の方が参加されました。

早朝、博多駅筑紫口に集合し、一路、目的地の遠賀郡岡垣町のぶどうの樹（野々庵）に向かいました。

途中、道の駅むなかたに立ち寄り、玄界灘の荒波で採まれた活きのいい海産物（魚等）や宗像の自然の恵みで育まれた農産物（野菜等）などのショッピングを楽しんだあと、目的地のぶどうの樹には昼前に到着しました。

さっそく宴会に入り、野々庵特製のぶどうティーで乾杯し、ななつ星ランチを堪能しました。その後は、恒例のカラオケ大会で大いに盛り上がりました。

宴会のあとは、それぞれ思い思いに、カラオケや入浴を楽しんだあと帰路につき、午後4時半すぎに博多駅筑紫口に到着しました。

今回は、あいにくの雨天でしたが、カラオケや入浴でリフレッシュし、また、会員同士の懇親を深めることができ楽しい一日でした。

広報委員 白石 寛治

## ●福祉家事援助班全体会議開催



9月29日（木）に中央区の「あいでふ」で、中央出張所福祉家事援助班の全体会議が開催されました。

会議には家事班の49名が参加し、渡辺委員長、樋口専任担当理事の挨拶に続き、福岡市保健福祉局高齢社会部の江野係長より、「ごぞんじですか？いきいきセンターふくおか」と題して講演をいただきました。

福岡市地域包括支援センター「いきいきセンターふくおか」は、高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしく暮らし続けることができるようにと、介護保険法に基づき設立されたものがあります。

センターの主な業務は①総合相談支援業務②介護予防ケアマネジメント業務③権利擁護業務④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務などで、保健師・社会福祉士・主任ケアマネージャーが常駐し、高齢者本人もしくは家族からの相談に応じています。

主な相談の事例では、通院できない体になったので、往診してくれる病院はないか、介護支援の認定がおりたのでデイサービスに行きたいがどうすればよいか、一人暮らしで認知症の親が心配だ、庭や家の掃除を手伝って欲しい等々です。

受講した会員の中には、福祉家事援助班の会員として、この「いきいきセンターふくおかの活動内容を知ることが重要であり、今後に役立てていきたい」と語っていました。

## ●街頭キャンペーン実施



10月8日（土）に渡辺委員長を始め役員有志21名による街頭キャンペーンを実施しました。

キャンペーンの目的は市民の方々に、シルバー人材センターの役割や業務内容を広く知ってもらうこととあります。

キャンペーンは薬院駅前、薬院大通り、唐人町、六本松の四か所で実施し、道行く市民の方々にシルバー人材センターPRのパンフレットを配布しました。

中には「シルバー人材センターに登録するにはどうしたら良いか」と言った、具体的な質問をする人もいて、大いにPRすることができたキャンペーンでした。

## ●シルバーフェスティバルで活躍



10月15・16日（土・日）、RKB毎日放送に於いてシルバーフェスティバルが開催されました。

このフェスティバルはRKBラジオ祭に協賛する形で、シルバー人材センターの普及啓発活動の一環として毎年行われているものがあります。

そのフェスティバルでも中央出張所会員が大活躍しました。

先ず、筆耕班による封書・はがきの宛名書きやのし袋書きなどのサービスをしました。

筆耕班の有田班長を始め会員有志が、持ち寄られたはがきやのし袋にきれいな文字ですらすらと宛名書きをしPRしていました。

また、サークル活動の「手芸の和楽」は川田代表を始め会員有志が、布草履など自分たちの手作りの作品を展示販売していました。

中央出張所の渡辺委員長は、「このようなフェスティバルや街頭キャンペーンを通じて、シルバー人材センターの普及啓発活動を地道に続けていくことで、会員の増加や就業率の向上に結び付けたい」と期待を込めて語られました。

## ●南区地域懇談会開催



9月9日（金）から10月14日（金）まで延べ8回、南出張所2階会議室において、参加者総数159名の会員が出席して開催されました。

児嶋副委員長の開会のことばで始まり、平田委員長から日頃の劳いの挨拶があり、引き続き下記事項の報告、説明がありました。

- 1 南出張所の体制。役員会、地域班、職群班構成。役員会、安全・適正就業会議の開催日。
- 2 南出張所の事業実績報告。事故発生状況。会員の入退会状況。行事予定。互助会行事予定。
- 3 これからの南出張所の運営
- 4 独自事業
- 5 互助会活動等
- 6 地域班別グループ討議。グループに分かれ自己紹介のあと、各々問題点や出張所への要望・意見交換では、中部センターと話し合いが出来る場を設けて欲しいと、要望などがあり有意義な懇談会が行われました。

最後に桑原副委員長の閉会のことばで、終了しました。

## ●街頭キャンペーン実施



10月7日（金）薄曇りのなか、午前10時から平田委員長、児嶋副委員長と会員36名が西鉄大橋駅西口に集合して、お仕事募集中・会員募集中の

リーフレットとウェットティッシュを配り街頭キャンペーンを実施しました。

このような地道な広報活動を通じて、シルバー人材センターへの理解を深めて頂き、仕事のご依頼や会員増員のために大事なことではないでしょうか。

参加頂きました会員の皆様、お疲れさまでした。

## ●サークル活動 カラオケ愛好会『雲雀』に参加



10月18日（火）絶好の秋日和の朝、西鉄高宮駅と大橋駅にホテルの送迎バスが来て45分足らずで、目的地のホテルグランドア大宰府に到着しました。まずメンバーは、天然温泉浴でリフレッシュ、宴会場に揃ったところで三角会長の乾杯で、恒例行事の『錦秋に歌う旅行会』は始まりました。

秋の味覚に舌鼓をうちながら、徐々にアルコールがまわり始めたころカラオケ専用室に移動です。

歌大好き、唄うことがな好きなメンバーは、コーヒーや焼酎などを口にしながら持ち歌十八番を熱唱、ダンスなどで若干疲れが見えてきた人、未だ歌い足りない人と、体力の差は様々です。

最高潮に達したところで、歌唱力優秀な3名が表彰され終了しました。

帰路の車中、市川昭一会員（82歳）は、カラオケを始めて30年間、風邪ひかず・薬いらず・医者いらず『カラオケは万病の薬』であると熱く語っていらっしました。

カラオケ愛好会『雲雀』の皆様、これからも歌を愛しカラオケを楽しみ、健康でご活躍されますことを期待致します。

広報委員 水田 國生

## ●福祉・家事援助班全体会議



9月28日(水)午前10時から城南市民センターにおいて、樋口専任担当理事及び会員33名が参加し開催されました。

永富委員長の挨拶に続き、福吉職群班長がリーダーの吉岡会員を紹介しました。

樋口専任担当理事は「地域の中で、少し元気なシルバーが地域の高齢者を支援する新規事業への参入を検討している」と挨拶。

安全・適正就業報告では事故事例の内容が報告され、参加者全員が自らを振り返る機会となりました。

体験発表では新人会員の二人がはじめての就業体験を披露しました。江口会員は「寝たきりの96歳のおばあさん宅で昼食を親身になってお世話しました」と。高野会員は「学校の教職員トイレを掃除しています。“トイレ掃除には神様がっている”と信じて丁寧に取り組んでいます」と。

第二部では、城南区地域保健福祉課の保健師による「座ってできる転倒防止」のストレッチ体操を行いました。最後に質疑応答を行い散会しました。

## ●普及啓発キャンペーン実施

10月15日(土)午前10時に、城南区内にある大型団地(笹の台・油山・田島・別府・荒江の5カ所)に集合して、合計で1,400戸にシルバーの就業案内やワンコインサービスのPRパンフレットを配布しました。参加会員は14名で約1時間のボランティア活動でした。

## ●28年度第4回役員会開催

10月20日(木)午前10時から城南市民センターで永富委員長ほか役員等28名が参加して行われました。



藤村副委員長の司会で始まり、永富委員長から9月までの事業報告、

安全就業及び事故報告、ワンコインお助け隊事業報告などが行われ、季節変動と公共の減収を除けば順調に推移しているとの報告がありました。

- ・会員数は669名、就業率は65.3%
- ・配分金実績は7143万円(対前年比99%)
- ・公共構成比37%
- ・事故発生件数は2件(前年0件)
- ・ワンコイン事業は413件(月平均69件)

## 城南出張所の移転について

城南出張所が城南区役所の西側に隣接するビルに移転することが決定しました。「城南区内に出張所を！」との会員の永年の願いが実現します。移転の期日・住所・電話番号など詳細については会員の皆様に改めてご通知致します。

## ●親睦旅行について



28年度の親睦旅行は11月10日(木)、11日(金)の両日、総勢78名が参加して、山口県下関市長府から

門司港レトロを巡りました。

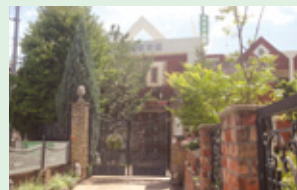
長府では観光ガイドの熱弁を聞きながら武家屋敷を

散策し、紅葉に包まれた功山寺で記念写真を撮りました。長府会館ではふく刺に舌鼓。帰路は火の山から関門海峡を眺め、門司港レトロでお土産などの買物を楽しみました。両日とも、会員の皆さんは充実した日帰り“バス旅”を満喫しました。



## 就業先情報

## ●社会福祉法人 栄和会 若草保育園 様



城南区「別府4丁目」のバス停から徒歩で約3分。若草保育園は閑静な住宅に囲まれた茶山6丁目にあります。

当園は昭和48年に設立され本年7月に43周年を迎えました。

瀬戸園長先生によると「園の目標は『明るく元気で頑張りのきく子どもを育成すること』を掲げています」「3歳児・4歳児・5歳児の異年齢の子供たちを、縦割りにクラス編成することで、より豊かな社会性を養いながら子供たちの成長を促す“保育”を実践しています」とのこと。

また「子供たちが多くの時間を過ごす園内外を“きれいに”“清潔に”きちんとした環境に保つことがとても大事で、そのことに全力で取り組んでいます」と強調されました。

現在、若草保育園には男性3名、女性4名の会員が就業しています。男性会員は外回りのお掃除を、女性会員は園内内部のお掃除を主な業務としています。

最後に、瀬戸園長先生から「シルバーの皆さんには、私たちにできないところを適切に処理していただいととても安心してます」「子供たちがスズメのようにまわりつき『おじちゃん！何しよと…』と言っている風景には心がなごみます」と、お誉めの言葉をいただきました。

広報委員 橋本 修一

## ●女性会員の集い開催



9月23日（金）午後1時半、早良市民センター3階会議室で女性会員の集いが開催されました。女性会員67名で和田副委員長の司会のもと会議は進行しました。

最初に波多江委員長から早良出張所の現状報告がありました。続いて本部の樋口専任担当理事より家事援助サービスについて、井上専任担当理事より就業開拓について、そして小田安全担当より安全就業について説明がありました。



次に南出張所会員の清永講師により健康講座の講演がありました。健康年齢を伸ばし、元気で生きるために必要な2つの要素として姿勢と呼吸の

改善方法を説明されました。

姿勢については、歩く時前傾姿勢になると①筋力の低下と委縮を招き、②肺を圧縮するため呼吸が早くなり③腰に負担がかかるので腰痛の原因になる。従って正しい姿勢を保つことが大切。

また呼吸については、地上の動物の呼吸回数は一生で平均20～25億回であるため、早く呼吸したら早く亡くなることになる。そのため、ゆっくり息を吸って、ゆっくり吐くようにすれば、それだけ長生きできることになる。そして、ゆっくり息を吐いた時、空気を丹田（下腹）にためるようにすること。

以上のようなことを意識し姿勢を正し、ゆっくり呼吸をすれば、5～10年は健康寿命を伸ばすことが出来るとの事です。

人生の最後まで健康でいるためには、以上の点に加えてストレスをためない事、明るく楽しく過ごす事が大切だという話で健康講座は締めくくりとなりました。

最後まで皆さん熱心に聞いておられ、有意義な集いでした。

## ●地域班長会議開催

10月20日（木）午前10時から早良出張所会議室に於いて地域班長会議が開催されました。会議は波多江委員



長、井上専任担当理事をはじめ地域班長23人が出席して小松副委員長の司会で進行しました。

最初に波多江委員長から次のような報告がありました。

まず連絡事項として①地域班リーダーから地域班長になった方：飯倉2丁目の永野京子会員と賀茂2丁目の古川正勝会員②広報委員交代：高橋勉会員から金田博保会員へ③副委員長交代：小松義幸会員から石橋好勝会員へ

そして、早良出張所の現状報告として、配分金、会員数、就業率、事故発生状況、ワンコインお助け隊、これからの行事等の説明がありました。

続いて井上専任担当理事からは現在困っている問題として、会員数が増えない事と仕事を開拓してもその仕事をやる人が少ないという事を指摘されました。

## ●街頭キャンペーン実施



10月20日（木）の班長会議終了後西新周辺3か所で街頭キャンペーンを実施しました。波多江委員長、井上専任担当理事を含む総勢13名が3か所に別れチラシを配布しました。チラシはシルバー人材センターの仕事募集、会員募集を記載したもので、ウェットティッシュと一緒に手渡しました。メンバー全員が街頭を通行する人に丁寧に説明しながら配布していました。

広報委員 金田 博保



## ●普及啓発キャンペーン活動



西出張所では10月8日（土）、午前10時から12時に、イオンモール福岡伊都店の正面入り口等で、城委員長、岡崎監事はじめ関係地域班長や事務局の13名で普及啓発キャンペーン活動を行いました。活動では、買い物に来られた家族づれや年配のご夫婦に、普及啓発リーフレット等を約1,000部配布し、シルバー人材センターへの理解を深めていただきました。配布した人の中には、シルバー人材センターの業務について、いろいろ質問する方もおられ、会員拡大への期待も感じられました。

## ●福祉・子育て・家事援助班全体会議開催

福祉・子育て・家事援助班全体会議が10月12日（水）、西出張所会議室で50名の会員が参加して開催されました。はじめに城委員長



から事業実績報告等があり、岡崎監事と樋口専任担当理事から挨拶の言葉がありました。そして、福祉・家事援助サービス憲法の唱和の後、家事班リーダーの岩崎会員の指導に合わせ、全員でストレッチ体操をして身体をほぐしました。

その後、櫻井家事班担当の司会で、福祉施設に就業している廣田会員・兼武会員・田中会員と個人宅支援に就業している宇佐美会員・福田会員・久保会員の6名による体験発表があり、就業を通じての喜びや心のふれあいが述べられました。その中の福田会員は就業して17年（84歳）、ハキハキと元気よく発表され、今も月に2回、個人宅の家事援助をされているそうで、参加した会員からは驚きの声があがっていました。

## ●平成28年度 女性会員の集い

11月11日（金）、午前10時から西出張所の大会議室で女性会員の集いが開催され、48名の女性会員が参加しました。はじめに、城委員長から事業

実績等について報告があり、配分金実績で、家事援助サービスが他地区では減少のなか、西出張所のみが増加していることへの感謝の言葉がありました。続いて樋口専任担当理事、岡崎監事からも挨拶をいただき、西部センター桃崎所長からは、生活支援型訪問サービス従事者研修の説明があり、研修を受講すれば資格がなくても、高齢者の生活支援の仕事に携わることができるので、ぜひ受講されるようお話がありました。



続いて第2部では、中央ヤクルト販売株式会社の池田管理栄養士様から、「ウン知育教室」の講演がありました。講演ではウンチは身体からの便りで、理想のウンチについての説明が、ビデオとユーモラスなお話を交えて詳しくありました。また、バナナのような立派なウンチの模型が配られ、会員は恐る恐る手に取っていました。最後は参加者全員でお楽しみ抽選会が行われました。

## ●親睦日帰りバス旅行を実施



西出張所では11月9日（水）、晴天の中、親睦日帰りバス旅行を行いました。今回は「キリンビール福岡工場～日田豆田町散策～中島農園柿狩り」です。午前8時に西出張所を出発し、高速道路で最初は朝倉の三連水車で休憩です。次は参加者の皆さん期待の朝倉市にあるキリンビール福岡工場見学とビールの試飲です。できたての「一番搾り」ビールはさすがに美味しく、ほろ酔い気分になりました。そして昼食は日田市内の山水館で、鮎の塩焼き等を美味しくいただきました。

最後は浮羽町の一ノ瀬窯元近くの中島農園で柿狩りです。山あいにかくさん実った赤い富有柿を狩りました。会員のなかにはたくさんの柿をお土産に狩られた方もいました。夕方には予定通り西出張所に帰着して、無事に旅行を終えました。

## 平成28年度 実績報告

### 平成28年10月末現在

●会員数	6,911名	●就業者	4,577名
男性	4,420名	●就業率	66.2%
女性	2,491名	●事業収入	13億2,688万円

## 平成28年度 事故発生状況

### 平成28年10月末現在

傷害事故 14 件、賠償事故 12 件、自動車事故 5 件、合計 31 件：前年同月比－3 件

★就業前に十分な安全確認をいたしましょう。三脚や竿のように長いもの、ミニバイクや電動自転車のように重たいものを移動する前に周囲の状況をしっかり確認しましょう。

★この家具や調度品はもしかしたら高級品？作業前にお客様にお願いして邪魔にならないところに移してもらいましょう。

★モップや雑巾がけを行う時、事前にお客様と相談し、床が滑りやすい状況を周囲に知らせる工夫をいたしましょう。

今年もインフルエンザの季節がやってきました。重症化する例もありますので注意が必要です。次の予防対策を取りましょう。

- 手洗いを日常的に行いましょう。
- 十分な休養や睡眠をとり、体力や抵抗力を高め、体調管理をしましょう。
- 咳・くしゃみの際にはティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。
- 症状のある人はマスクを正しく着用し、感染拡大防止に努めましょう。

今年も残すところ僅かとなりました。安全管理、健康管理を心掛け新しい年を迎えましょう。

# 会員のひろば 俳句

俳句の会「鴻臚」十周年を迎える

中央区の互助会サークル俳句の会「鴻臚」では、この十月で発足十周年を迎え、十一月二十七日に記念吟行と記念式典を開催いたしました。

十五名の方々の賛同を得て俳句の会「鴻臚」が発足したのは平成十八年十月のことでした。爾来十年、現在十二名のメンバーで句会を重ねること百二十回、年数回の吟行も楽しんで参りました。

十周年を機に健康に気を付けて細く長く、俳句の会「鴻臚」が一日でも長く続いていくことを念じて止みません。

俳句の会「鴻臚」代表 大津英世

（会員による十周年を寿ぐ句）

十年を閑する鴻臚菊香る	大津 英世
十年の歩み言祝ぐ花八手	中村 幸女
秋の灯や鴻臚に綴るわが想ひ	榊 よし子
天高し五七五を一筋に	重松 雅女
文月に十歩踏み出す鴻臚かな	石田 妙女
奇遊てふ奇星落ちけり秋の風	桐井 玉子
（奇遊…亡くなった句友の俳号）	
菊の香や十周年を祝ぐ鴻臚	田中すみれ
秋天や鴻臚と歩くよき老後	本村 順子
秋天や十周年の句会賀す	山根 里子
鴻臚はや十歳を迎へ赤とんぼ	一本きよ子
表題も美しき「こうろ」や照紅葉	大水 敏子
十年を寿ぐ鴻臚天高し	牧野 鏡子

恒例のシルバー親睦旅行を俳句にしました。

南出張所 尾田 勝也 会員

山頂の 観音菩薩 巨大なり  
カラオケに 宴も闌 楽しけり  
バス旅行 親睦深め 秋の風

## 「芸能大会」開催のご案内

本年度も互助会主催の新春芸能大会を、平成29年1月25日(水)に開催いたします。観客の入場は無料です！ご来場をお待ちしています。

**会場** ふくふくプラザ（福岡市市民福祉プラザ）

福岡市中央区荒戸3丁目3番39号

**日程** 平成29年1月25日（水）

**時間** 開場11時30分

開演12時30分から 終演16時30分予定

**表彰式** 最後に各区委員長の審査による表彰があります。

※来場者には最後におみやげを準備しています。



### ● アクセス

公共交通機関をご利用ください

- 福岡市営地下鉄「唐人町」駅下車  
4番出口から徒歩約7分
- 西鉄バス「黒門」バス停下車  
徒歩約5分「福大若葉高校前」バス停下車すぐ



## 互助会主催「ボーリング大会」のお知らせ

**会場** 博多スターレーン

**開催日** 平成29年3月9日（木）

詳細は次回シルバーだより2月号でお知らせします。



## 新しい会員手帳を配付します

定款をはじめとする諸規程が改正されたことに伴い、会員の皆様全員を対象に新しい会員手帳を配付いたします。

今回のシルバーだより12月号に同封しておりますので、ご確認ください。

また、現在お持ちの会員手帳は、各自で処分をお願いいたします。

# 事務局からのお知らせ

## 配分金にかかわる確定申告について

シルバー人材センターから支払われる配分金は、所得税法上では「雑所得」として取り扱われます。

従って、次に該当する場合、確定申告の必要がありますので、ご注意ください。

「雑所得控除」＝「必要経費等の控除」就業の際の交通費等は、この「必要経費等の控除」に含まれる。

### 収入が配分金だけの場合 1年間の配分金合計が103万円を超える場合

$$\text{所得税額} = (\text{配分金} - \text{雑所得控除 65万円} - \text{基礎控除 38万円}) \times \text{所得税率}$$

### 配分金の他に、公的年金収入がある場合

$$\text{所得税額} = \{(\text{配分金} - \text{雑所得控除 65万円}) + (\text{公的年金等} - \text{公的年金等控除額}) - \text{基礎控除 38万円} - \text{その他の所得控除}\} \times \text{所得税率}$$

#### 公的年金等控除額

##### 65歳未満の場合

公的年金等の収入金額	公的年金等の控除額
130万円未満	70万円
130万円以上～410万円未満	年金収入×0.25 + 37.5万円
410万円以上～770万円未満	年金収入×0.15 + 78.5万円
770万円以上	年金収入×0.05 + 155.5万円

##### 65歳以上の場合

公的年金等の収入金額	公的年金等の控除額
330万円未満	120万円
330万円以上～410万円未満	年金収入×0.25 + 37.5万円
410万円以上～770万円未満	年金収入×0.15 + 78.5万円
770万円以上	年金収入×0.05 + 155.5万円

#### その他の所得控除

$$\text{扶養控除額} = \text{被扶養者 1人あたりの控除額} \times \text{扶養人数}$$

##### ◎年金所得者に係る確定申告不要制度について

公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には、所得税の確定申告をする必要はありません。

(注1) この場合であっても、所得税の還付を受けるための確定申告書を提出することができます。

(注2) 所得税の確定申告が必要ない場合であっても、住民税の申告が必要な場合があります。住民税に関する詳しいことはお住まいの市区町村におたずねください。

#### 被扶養者1人あたりの控除額

区 分			控除額	内 容
控除対象配偶者	一般：70歳未満	通常	38万円	配偶者控除
	老人：70歳以上	通常	48万円	老人配偶者控除
扶養親族	一般：16歳以上で「特定・老人」に該当しない人	通常	38万円	扶養控除
	特定：19～22歳	通常	63万円	割増扶養控除
	老人：70歳以上	通常（一般）	48万円	老人扶養控除
通常（同居）		58万円	老人扶養控除＋老親控除（10万円）	

#### 配分金等の個人情報の取り扱いについて

配分金等の個人情報は、個人情報保護法第16条・第23条により、国等の機関（税務署や市町村等）から情報の開示を求められた場合は、情報提供に応じる可能性がありますので、ご了承ください。

配分金収入、公的年金収入以外に収入がある方は、事例の取扱いとは異なります。詳細につきましては、最寄りの税務署にご相談ください。

※配分金支払証明書と会議出席等の源泉徴収票は、それぞれ平成29年1月末頃に発送いたします。

「ふくおかシルバーだより」

発行元／公益社団法人福岡市シルバー人材センター

◎ご意見やご質問、お便りをお待ちしています。

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目25-15

TEL(092)643-8200 FAX(092)651-5000

HP <http://www.fukuoka-sjc.org/> / e-mail [honbu@fukuoka-sjc.org](mailto:honbu@fukuoka-sjc.org)